

■地区復興まちづくり計画（素案）内覧会等の報告

（１）内覧会の概況

- ・日 時：1 月 20 日～23 日
- ・場 所：市役所分庁舎 3 階大会議室
- ・来場者数：104 名

※市役所分庁舎では、中心市街地以外も含めた 10 地区分の資料を掲示しました。

●会場の様子



（２）便りへの意見等

1	<p>①今回の津波（3. 11）発生時、気象庁の報道では 3m、5m と津波の高さが変わったことが問題だと考えるので、津波発生時においては、市職員は屋上に上がってリアルタイムの状況を確認して放送すべきと考える。また、炊き出し等の特別部隊を編成すべきである。</p> <p>②水門は絶対反対である。船の出し入れや、上流に泥が溜まることも考えられる。</p> <p style="text-align: right;">（60 歳代 男性）</p>
2	<p>旧山口川の和見町小松商店から下流（岩見医院）にかけて川べりを少なくとも 50 cm 嵩上げして欲しい。特に小松商店から熊谷マンション付近にかけては、石で作られていて、安全上も問題である。住宅が直近まで建っているので現状の石ブロックをコンクリートで覆い 50 cm は嵩上げしてもらいたい。又、県道下は底を打っており、川底を掘っても低くなってだめです。改修工事を検討して下さい。</p> <p style="text-align: right;">（検討会メンバー）</p>
3	<p>①市役所は現地再建に賛成。市役所の移転案に反対</p> <p>②NTT、東北電力のビルは現在地に残す。</p> <p>③向町、大通りに津波避難ビルタワーの整備案に賛成。</p> <p style="text-align: right;">（男性）</p>
4	<p>未広町商店街について</p> <p>1 月 1 0 日の会議の中で未広町商店街から考え方が発表されたが、市全体の発想から考えると将来性に乏しい内容で、この震災を期に将来に向けた全市的立場から未広町商店街を構想すべきです。市、市民、商店主のコンセンサスの中で早急に計画を詰めて欲しい。従前計画はセツ</p>

	<p>トバックを前提とした考えで、それも無償化であり、又、その土地を商店街が自分達で使用する考え方は理解できない。土地は地主所有で有り、地主の意向も重要であると思います。避難道路としても、栄町、末広町、中央通り、築地と一体化した道路作りをすべきです。この期に予算化して地主方々に協力を求めて、拡幅工事をすべきです。この期なくして将来は有り得ないと思う。(復興事業として) 高い固定資産税の中で、賃貸料は10年前の半分です。又、空店舗や住民不在、地主は他居住等の中でセントバック待ちの復興計画は何もしないに等しいと思われる。拡幅工事をして双方向通行を可能にし、スーパー等をベースとした商店街は作られると思いますし、市民にも希望と思います。ジリ貧の土地より減少でも(価値ある方がよい)。世の常、時代の流れと共に商売も人も変わって行くでしょう。(匿名)</p>
5	<p>1月18日岩手日報を見て宮古市では、閉伊川河口に水門を整備し、宮古の中心街の被害を防ぐとの事。市議会復興対策特別委員会の提言では、津波のエネルギーは閉伊川に吸収するよう提言であったが、何も説明もなく水門決定との事。1月20日から素案の内覧会が始まり、見て説明など受けて来たが水門整備には絶対反対である。</p> <p>(理由)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地球誕生以来、40数億年になるが、人間英知を結集しても、自然の驚異には勝てない。水門の高さ…10.4m 全長…154m 事業費…170億 地元負担…0 期間…5年 との事だが170億に目がくらんだのか使い道は別にある。市役所の移転とか末広町メイン道路拡張、避難路作り、106号冠水問題などある。水門は税金の無駄使い。防潮堤を嵩上げしエネルギーを上流に流すべきだ。 2. 水産業、観光リゾート、閉伊川発展に支障し、自然景観を壊す。宮古湾、月山の展望、閉伊川太郎河口船の発着場、ボート、ヨット、カヌー、川釣、海釣等、川遊び上流まで多催である。 3. 水門活用は津波防潮だけで経済効果は疑問。100年に1度の活用で170億の金を使うのは税金の無駄使いだ！又、河口付近の藤原、磯鶏、鉾ヶ崎の新たな浸水域を作るのか。今の防潮堤を修復嵩上げしたり、市役所移転、館合からパークホテルまでの市の幹線ルート、106号冠水問題など水門以上にやるべきことがあると思う。1月10日、検討委員会で中心街の末広町の町作りについて構想を見てびっくりもがっかりもした。県も市も能力先見性もない方々だし、そして、末広町商店街検討委員会の方々も。 4. 水門の件、その他復興計画について行政(県)の指導で行われてきたと思う。地元無視。私は委員でもなく発言権もないが黙っていられない。傍聴2回、提言今回で3回提出することになるが、水門の件については徹底的に反対である。宮古市の100年1000年の大計に後世に禍根を残したくない。地元の先人住民言われ旧地名など充分聞き、復興に生かすべきだ。宮古は水産業、観光イージパーク等基本に自然を生かす町作りを進めるべきだと思う。「海・川・山」大地と共に命を守る、自然の恵みと恩恵を大切に三陸を創ろう。 <p>45号と106号の交差、45号に106号(上)に交差させ、光岸地まで延長させる。水門不要10.4m+2mで宮古中心市街地を守る事が出来る。106号市街地に早く降ろしたかったら別ルート向町、田町に作る。市役所跡地利用。避難タワー、観光拠点物流魚市場拠点など。(男性)</p>